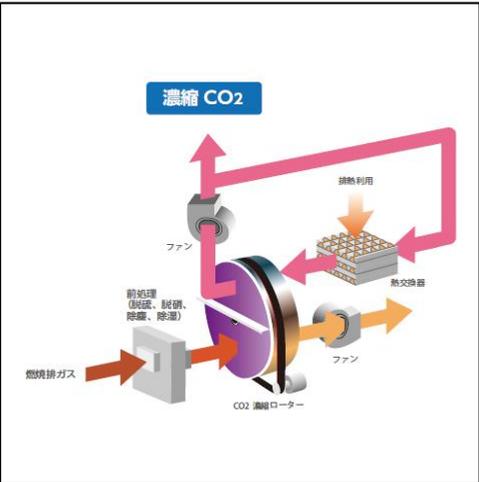


平成28年度 環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー エントリーシート

所属地域	九州	支援機関	九州環境エネルギー産業推進機構（略称：K-R I P）		
プレゼン希望地域 (希望地域に○)	関東	○ 中部	近畿	九州	沖縄
ふりがな	かぶしきがいしゃ せいぶぎけん				
企業名	株式会社 西部技研				
所在地	福岡県古賀市青柳3108-3				
資本金	1億円	従業員数	約200名		
会社概要	除湿、揮発性有機物質（voc）除去、全熱交換等の空調機器の製造、販売				
ホームページURL	http://www.seibu-giken.com				
■ 該当する事業分野	<input type="checkbox"/> 環境分析装置 <input checked="" type="checkbox"/> 公害防止装置 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理・リサイクル装置 <input type="checkbox"/> 環境関連サービス <input type="checkbox"/> 施設建設（埋め立て処分場造成等） <input type="checkbox"/> 廃棄物処理・リサイクル <input type="checkbox"/> 下水・し尿処理 <input type="checkbox"/> 環境修復・環境創造 <input type="checkbox"/> 環境調和型製品 <input type="checkbox"/> 新エネルギー <input checked="" type="checkbox"/> 省エネルギー				
■ アライアンスを提案する商品、技術、システム	発電所、ごみ焼却場から排出される排ガス中のCO ₂ を回収するCO ₂ 分離回収装置。 回収したCO ₂ は農業分野、バイオ関係、燃料やプラスチックの生成等に使用され、CO ₂ を削減する 関連の特許番号：特許第5795423号、特許第5627870号、特許第5485812号、特許第4159145号 過去に飯塚市クリーンセンターで実証試験を共同開発で行ったことがあるが、その後、事業化には至っていない。その理由としては、当時はCO ₂ から機能性樹脂の原料となるカーボナイトモノマーを生成できたが、その後コスト面で販路が拓けなかったためである（ https://www.kankyo-business.jp/news/002135.php ）。現在は飯塚市で開発したものを改良した試験機を製作し、当時は回収CO ₂ 濃度70%程度が限界だったが、現在は95%程度と高濃度に濃縮可能となっている。ハニカムロータを用いたTSA方式でここまで高濃度濃縮ができたのは弊社が初の技術である。しかし、現状でも応用・実証試験段階（テスト機による試験終了段階）で、事業化には至っていない。				
■ 既存・競合商品等に比べ価格・性能の優位性	有害物質の使用がなく、安全 起動が早い 大気圧で使用 中～高濃度に濃縮可能。中濃度であればランニングコストを抑えられる				
■ アライアンスパターン	＜アライアンスパターン＞ <input type="checkbox"/> 工程分業型 <input type="checkbox"/> 機能分業型（販売代理店、メンテナンス等） <input type="checkbox"/> 事業移管型 <input checked="" type="checkbox"/> 開発型				
■ アライアンスパートナーイメージ・事業者	弊社は、CO ₂ 分離・回収装置の提供。 アライアンスパートナーは、 ・CO ₂ 分離・回収からCO ₂ 利用までの事業化提案をおこない、システムの共同開発をおこなう。 又は ・CO ₂ 利用の事業化提案をおこない、システムの共同開発をおこなう。 ＜アライアンスパートナー・事業者イメージ＞ 排ガスを排出するごみ焼却場、発電所、化学プラント、製鉄所、各種ボイラー使用者などの自治体や民間企業を顧客にもつ事業者（システム開発・メンテナンス・コンサルタント）および当該事業者。 回収CO ₂ を利用する農業分野、バイオ関係、燃料やプラスチックの生成を行う事業者を顧客にもつ事業者（システム開発・				
■ 取扱商品・技術の関連図面、製品写真等	 <p style="text-align: center;">システムフローイメージ</p>				